

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- パワーモジュール：ストーブからパワーモジュールを取り外して、石鹼と水で湿らせて硬くしぼった布で汚れをふき取ってください。パワーモジュールを水にいれたり、過度に水分を持たせたりしないでください。
- ストーブ：灰を取り除き、必要に応じてナイロンブラシなどでこすり洗いしてください。ゴトクは、石鹼と水で湿らせて硬くしぼった布でふき取り、十分に乾かしてください。ストーブは食器洗浄機でも洗うことができます。洗った後は完全に乾燥させてください。

■ 保管方法

- 雨露、粉塵、直射日光、紫外線、塩害、高温、多湿を受けることがない、風通しのよい乾燥した場所（0～40度）で保管してください。
- 長期間（半年以上）使用しない場合は、75～50%程度充電した状態で保管してください。自然放電が進んだ状態で長期間放置すると、電圧が低下し、使用出来なくなることがあります。また、満充電での長期間の保管はバッテリーの寿命を縮める場合がありますのでご注意ください。
- お子さまの手の届かないところに保管してください。
- 火気の近くや自動車内などの高温になる場所や極端に低温になる場所に保管しないでください。変形、発火、破裂、火災、故障などの原因となる場合がございます。

■ 廃棄方法

- ご不要になった使用済み充電電池は放置したり、一般ゴミと一緒に捨てないでください。
- 内蔵しているリチウムイオン電池はリサイクルできます。本製品がご不要になりましたら、パワーモジュールを取り外し、モンベルストアにお持ち込みいただくか、下記カスタマーサービスまでお客様負担でご送付ください。ストーブの廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。



■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご希望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 仕様・サイズ

品番	：#1824226
品名	：バイオライト キャンプストーブ 2
材質	：ストーブ/ステンレス鋼
本体重量	：935g（収納袋、付属ケーブル、フレックスライト、着火材を除く）
燃料	：小枝、松ぼっくり、木質ペレットなどのバイオマス燃料
沸騰到達時間	：4分30秒（1.0L）※燃焼条件により異なります
内蔵電池	：2,600mAhリチウムイオン電池
入力	：MicroUSB 経由（7.5W/5V）
出力	：2A
発電能力	：3W@5V（持続可能最大）
充電可能機器	：USB 充電可能な電子機器 ※すべての機器への充電を保証するものではありません。
収納サイズ	：直径12.7×高さ21.0cm
付属品	：パワーモジュール充電用USBケーブル、収納袋、フレックスライト、着火剤

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。



バイオライト キャンプストーブ 2

BioLite Campstove 2

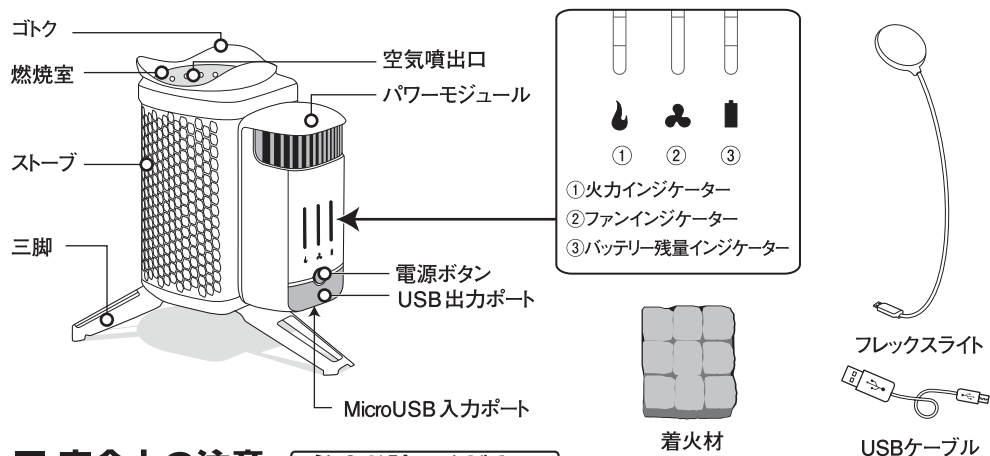
この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

たき火で発生した熱を電気に変換してファンをまわし、燃焼効率を上げるキャンプ用ストーブです。ガスやガソリンなどを使わず小枝などの自然燃料を活用して、強力で安定したたき火や調理を楽しめます。発電した電気は本体に蓄電され、たき火をしていない時にも電子機器に充電できます。4段階の風力調節機能と発電量・風力・蓄電量が一目でわかるLEDのインジケーターを内蔵。また、USBポートにつなげて手元を照らせるフレックスライトが付属します。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意

必ずお読みください



危険

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品は風通しのよい屋外で使用してください。テント内、車内、室内など、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。燃焼によって一酸化炭素が排出され、一酸化炭素の吸入により死亡または脳障害を引き起こす可能性があります。
- 本製品は、木材や松かさ等を燃焼するように設計されています。液体、ジェル、プラスチックやその他の燃焼促進剤は絶対にストーブに入れないでください。
- 使用中は非常に高温になり、炎の近くに可燃物があると引火する可能性があります。可燃物は、製品から横に半径50cm以上、上に120cm以上離してください。
- 本製品はガソリンやその他の可燃性の液体や可燃性ガスから遠く離れた場所でご使用ください。また燃焼室内にヤニが溜まったり、ヤニに引火したりしないように使用後は毎回ストーブをきれいに洗ってください。

- セラミック製品や鉄板、フライパン、金網などをストーブの上に載せないでください。パワーモジュールが加熱され変形・爆発の恐れがあります。
- ストーブの使用時または使用直後は金属の表面が高温になり、触れるとやけどの恐れがあります。ストーブを移動させる場合は、プラスチック製のパワーモジュールを持ってください。
- 炎が大きくなることがありますので、ストーブを使用している間は絶対に側を離れないようにしてください。また、使用中は極力ストーブを動かさないでください。
- 風向きが変わって炎がパワーモジュールにかかる場合は、火力を落としてからパワーモジュールの下部を持ち、細心の注意を払ってストーブの向きを変えてください。
- お子さまの手の届かないところで使用・保管してください。
- 必ず水平で安定する場所で使用してください。また、不安定な設置状態では使用しないでください。
- パワーモジュールの中の充電電池は、誤った使用や保管により火災、膨張、爆発、液漏れ、化学やけどの危険があります。これらの危険を防ぐために、充電電池が腐食しないようパワーモジュールは水中に入れないよう注意してください。
- パワーモジュールの中の充電電池は、他の熱源から十分に離してください。また、強い衝撃、圧力、振動等にさらさないでください。
- パワーモジュールの分解・改造・充電電池交換は行わないでください。充電電池を充電できない場合は、販売店もしくは当社へお問い合わせください。
- 異臭、発熱、変色、変形などの異常が見られた場合は直ちに使用を中止してください。故障、破裂、発火、火災などの原因となる場合があります。
- USBケーブルが痛んだ場合は使用をおやめください。感電、発熱、火災の原因となる場合があります。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品に内蔵されているリチウムイオン電池は、長期間充電せずに放置すると完全に放電して充電できなくなる恐れがあります。少なくとも6ヶ月に1度は充電してください。
※燃焼室にて燃焼することにより充電も可能ですが、USB経由の充電よりも時間を要します。
- ご使用前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないことを確認してください。また、乾いた草の上など延焼の危険がある場所では使用しないでください。
- 強風下では使用しないでください。また、使用中に風が強くなった場合は直ちに消火し、使用を中止してください。
- 就寝中は充電を控えるか、枕元や寝具の側などの燃えやすいものが周囲にない場所で充電してください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 本製品の上に鍋や別売のグリルなどの調理器具をのせたまま強火で使用しないでください。高温で使用し続けるとパワーモジュールのプロープ（棒状の部品）が変形する恐れがあります。また調理器具を空だきし続けしないでください。
- 本体を収納する際は十分に温度が下がっていることを確認して収納してください。また、緊急時以外は本体に水をかけたりしないでください。急激に温度が変化し、本体の破損・変形の原因になります。
- 設置時や収納時は必ず両手で作業を行ってください。乱暴な取り扱いがケガや本体の破損の原因となります。
- 使用により変色や歪みが発生することがありますが使用に支障はありません。
- 本体にさびが発生することがありますが使用に支障はありません。
- 本製品は防水仕様ではありません。
- 本製品は飛行機内へ持ち込みできない場合がありますので、事前に航空会社にご確認ください。
- 公園や河川敷などの公用地やキャンプ場などの管理地で使用する場合は各自治体や管理者に確認して使用してください。
- 焚火や火気類の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないでください。
- 接続する機器によっては、登録内容のメモリーが突然消失する可能性があります（接続する機器の取扱説明書をご覧ください）。接続する機器の登録内容は必ずバックアップを取ってからご使用ください。本製品の使用に際して、消失した登録内容などの保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。

- ☐破損箇所がないか
- ☐正常に燃焼するか

■ 使用方法

○ 1 初めてご使用になる前に（本製品への充電）

本製品を初めてご使用になる前に、内蔵の充電電池の充電方法をご確認ください。
本製品は充電電池が内蔵されています。初めてご使用になる前に外部電源から充電電池に充電してください。
なお、自然放電するため、6ヶ月に一度は同様の手順で充電してください。

- ① 付属のUSBケーブルを使用し、片方をパワーモジュールのMicroUSB入力ポートに接続し、もう片方をお持ちのUSB専用の充電器等に接続して充電してください【図1】。

② 接続中は、バッテリー残量インジケータが点滅します。ランプが全て緑色に点灯すれば満充電です。USB経由で充電できない場合は、燃焼室にて燃焼することにより充電も可能ですが、USB経由の充電よりも時間を要します（充電時間は燃焼条件により変動します）【図2】。

【図1】

【図2】
- 2 セットアップと着火方法
- 以下の「燃料」とは、木材や松ぼっくり等を指しています。ガソリン等の液体の燃料や石炭等の燃料や炭、オガライトは絶対に使用しないでください。
- ① パワーモジュールのプロープをストーブ横側の穴にさし込んでください【図3】。プロープをさきちらし込んでもパワーモジュールとストーブの間に若干の隙間ができますが、意図的に設計されておりますので使用には差し支えありません。

② ストーブの底にある三脚を完全に開きます。脚の1つを開く際にパワーモジュールの凸部に引っ掛けて固定してください【図4】。

③ 周りに可燃物がなく、水平で安定する場所にストーブを置いてください。周りに乾燥した芝などがある場合は、燃え移らないよう取り除いてください。また、万が一の場合に備え、近くに水を用意して、すぐに消火できるようにしてください。

④ ストーブの燃焼室の中に焚き付け用の乾燥した燃えやすい燃料（小枝など）を入れてください。※【使用する燃料と入れ方について】参照。

⑤ 燃料の上から点火してください。安全に点火するために長いマッチや付属の着火材を使用してください。

⑥ 約10秒後に電源ボタンを二度押しして待機モードを起動させます（ファンが低速で回転し、酸素を送り込みます）。

【電源ボタンの操作方法】

一度押し：バッテリー残量インジケータ ON ⇒ 二度押し：ファン電源ON、スタートアップモード起動 ⇒ 三度押し：ファン低速 ⇒ 四度押し：ファン中速度 ⇒ 五度押し：ファン高速 ⇒ 六度押し：キャンプファイヤー／待機モード

一度押し：バッテリー残量インジケータ ON ⇒ 二度押し：ファン電源ON、スタートアップモード起動 ⇒ 三度押し：ファン低速 ⇒ 四度押し：ファン中速度 ⇒ 五度押し：ファン高速 ⇒ 六度押し：キャンプファイヤー／待機モード

使用する燃料と入れ方について

安定した燃焼の為に下記の「燃えやすい燃料」「焚き付け燃料」の上に小枝を燃焼室に収まるように折って、交差させるように入れてください。

燃えやすい燃料

焚き付け燃料

乾いた小枝を削ったもの、バーチ（カバノキ）の樹皮

乾いた小枝 ※乾燥した高密度の燃料は、高温で長く燃焼します。（ナラ、カシ、カエデ、モミ等）

燃料の入れ方例

燃料の大きさの目安

本体

小枝を削ったもの

折った小枝

枝（小）

枝（大）

高温で最も効率よく燃焼させるには、燃焼室に入れる木の間に空気の通り道となるスペースを作り、燃焼室内側の空気噴出穴をふさがないようにしてください。また、全ての燃料が燃焼室内に収まるようにしてください（右図）。

可能な限り乾燥した燃料を使用してください。濡れたり湿っている木や葉は使用しないでください。煙がたくさん出て不完全燃焼を起こします。

鎮火時からもう一度火を起こす際は、過度の煙を防ぐために小枝を使用してください。

3

○3 燃焼維持の方法

うまく着火したら大きめの乾燥した燃料を追加してください。電源ボタンを押してファンの速度を調節することで燃焼室に空気を送り込んで火力を高めることができます。ファンの速度はパワーモジュール中央にあるファン速度インジケーターで確認できます。火が強くなるほど、発電効率は高まります。最大限に燃焼している場合は燃焼室の最上部まで燃料を入れることができます。ただし、燃料は燃焼室上部の空気噴出口を超えて投入しないでください。不完全燃焼を招き、やけどを負う危険性があります。



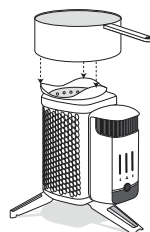
- ⚠ ストープの金属のメッシュ部は非常に高温になります。ストープが高温のときや燃焼しているときは、絶対に金属部を持たないでください。消火後に余熱が残っているストープを動かす際も必ずパワーモジュールをお持ちください。

オーバーヒート防止機能について

本製品はパワーモジュールに内蔵されているバッテリーが過剰に熱くなることを防止するために自動冷却機能が備わっています。この機能が始動するとパワーモジュールのすべてのインジケーターが点滅し、ファンが高速回転に切り替わります。このときファンの操作は出来なくなりますが、本体が十分に冷却されると、再び操作が出来るようになります。自動冷却装置が始動した際は、燃料の補給を中止し、本体が冷却されるまでお待ちください。

○4 調理

- ①調理器具はゴトクの上に直接置いてください。調理器具の持ち手がゴトクの凸部にくるように置くことで、炎が遮られて持ち手が熱くなることを防ぎます。
- ②調理中に燃料を追加する場合は調理器具を慎重にゴトクから下ろし、必要な分量の燃料を燃焼室へ投入します。

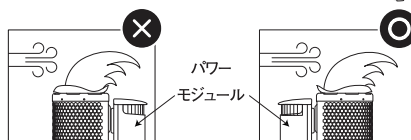


- ⚠ 耐荷重（容量 3.7L / 重量 3.6kg）を超えた調理器具を使用しないでください。

- ⚠ 風向きとストープの位置に十分注意してください。パワーモジュールに炎があたると破損する恐れがありますので、炎があたらないように常にパワーモジュールを風上に向けてください（右下図）。

- ⚠ 調理器具を動かす際や燃料を追加する時は、調理器具や中身が熱くなっているため十分注意してください。

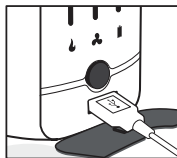
- ⚠ 料理器具をストープの上に置くと、底から炎がはみ出してしまうことがあります。やけどをしないよう十分注意してください。



- ⚠ パワーモジュールを覆い隠すような大きい鍋、フライパン、鉄板、および油や水が下に滴り落ちるような金網などは使用しないでください。熱でモジュールが溶ける恐れがあります。

○5 外部機器への充電（出力）

- ①外部機器への充電は、USB出力ポートにお持ちの充電用ケーブルを接続してください。内蔵バッテリー蓄電量は、バッテリー残量インジケーターで確認できます。目盛りが複数点灯していれば、火がついていなくても外部機器へ充電することができます。バッテリー残量インジケーターの目盛りが一つしか点灯していない場合、本製品は低電力モードへ切り替わり、外部機器への出力は停止します。点火して燃焼すると発電を開始し外部機器への充電ができるようになります。



- ②最大限の充電を維持するには常に強火を保ってください。発電量は火力インジケーターで確認できます。火力が強いと発電量も増えます。

※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。

- バイオライト キャンプストープは、USBで充電できる以下の機器を充電することが可能です。

・携帯電話 ・スマートフォン ・MP3プレーヤー ・LEDフラッシュライト ・ヘッドランプ ・充電電池など

- 燃焼や気温によって充電能力は変わります。

※すべてのメーカーのUSB充電対応機器への充電を保証するものではありません。

※携帯電話やスマートフォンなどの電池残量が少ない場合は満充電にすることが出来ない可能性があります。また、パワーモジュールのバッテリー残量が少ない場合は充電できないことがあります。

フレックスライト（付属品）使用方法

USB出力ポートに接続します。お好きな角度に曲げて調節し、ライトのオレンジ色の裏面を指で一度叩くと点灯します。ライト裏面を押し続けることでお好みの明るさに無段階で調節ができます。

- ⚠ USBケーブルをパワーモジュールにさし込む、または引き抜くときは、やけどの恐れがありますので金属のメッシュ部の表面に触れないよう十分注意してください。また、充電中に電子機器に炎や火花、調理中の食べ物等が飛ばないように、なるべく遠いところに置いてください。

- ⚠ 火力が安定しない場合はランプが点灯したり、消えたりする症状が現れることがあります。【3. 燃焼維持の方法】をご参考の上、安定した火力の維持をお願いします。

○6 消火方法

- ①灰になるまで燃料を全焼させ、冷ました灰を地面に掘った穴に入れてください。火がくすぶっている場合がありますので、必ず灰の上に水を注いで完全に消火してから土をかぶせてください。火が消えても冷却のためにファンは回り続けます。
- ②ストープが冷却されると、ファンは自動的に停止します。手で停止させるときは、電源ボタンを三秒間長押ししてください。

- ⚠ ストープの部品を保護するために、ストープには、絶対に水をかけないでください。

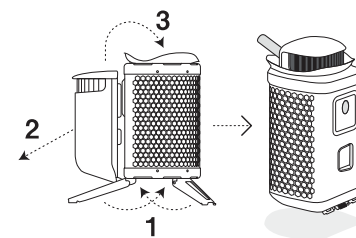
- ⚠ 灰を捨てる時は、水をかけて必ず完全に消火したことを確認してから土をかけて埋めてください。完全に消火されていないと引火して火事の原因となり、大変危険です。

- ⚠ 手でファンを停止させた後でも、ストープが熱ければ再度ファンが回転することがあります。ストープが冷却されるまでファンが回転することで、パワーモジュールの中の電気系統を保護します。

○7 収納方法

燃焼室が十分に冷却されているのを確認して、下記の手順でストープを収納してください。

- ①三脚を折たたんで収納します。
- ②パワーモジュールを取り外します。
- ③パワーモジュールを燃焼室の中に収納します。



■トラブルシューティング（困ったときは）

- トラブル内容：燃焼中に外部機器へ充電できない（バッテリー残量インジケーターの点灯なし）

原因：本製品の充電池が充電されていない。

（解決法）充電池が充電されるように燃料を追加してください。

- トラブル内容：燃焼中に外部機器へ充電できない（バッテリー残量インジケーターが複数以上点灯）

原因1：USBケーブルが接続されていない。

（解決法）USBケーブルの接続を確認してください。USBケーブルの両端をUSBポートから抜き、もう一度接続してください。

原因2：その他の原因

（解決法）USBケーブルの両端をUSBポートから抜いてください。3秒間電源ボタンを長押しして電源を切り、パワーモジュールが自動的に再起動するまでお待ちください。充電可能な状態に戻ったら、再度USBケーブルをさし込んでください。

上記の方法で問題が解決しない場合は、販売店、もしくは当社までお問い合わせください。

- トラブル内容：電源ボタンを押してもファンが回転しない

原因1：充電池が充電されていない。

（解決法）パワーモジュールをUSBコネクタで給電可能なUSBポートに接続し、本製品の充電池を充電してください。

原因2：ライトが点滅していない。

（解決法）販売店、もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでご連絡ください。